

『こころの中を見つめよう 博愛を広げるために』 Reach within to Embrace Humanity

RI 会長 カルヤン・バネルジー 第 2590 地区ガバナー 上澤 摩壽雄



川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2011~2012

会長・山本 剛 幹事・小泉 正博 会場監督・河合 東 会報委員長・市川 功一
事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104
TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rotaryclub.jp

◆例会場 ホテル精養軒 木曜日 PM12:30~(第 2 週 AM7:30~)TEL:044-711-8855(東横線 武蔵小杉駅徒歩 3 分)

第 1146 回 (本年度第 11 回) 例会

平成 23 年 9 月 29 日 (木)

於: 創作中華ダイニング「角 鹿」

点 鐘 山本 剛 会長

司 会 河合 東 会場監督

斉 唱 「四つのテスト」

お客様紹介 山本 剛 会長

大塚 正一様 (地区R情報・広報・IT 副委員長
川崎北 RC)

会員出席報告 小林 正樹 出席委員

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	20名	16名	4名	88. 89%
前々回(9月8日)	欠席5名		Make up2名	94. 44%

本日の欠席者 田辺清春会員、山田会員

卓 話 「ロータリー情報卓話」

大塚 正一様 (地区R情報・広報・IT 副委員長)



ロータリークラブに入って、最初に考えさせられたのは「ロータリーは慈善団体ではなく、奉仕団体だ」という言葉でした。「慈善」と「奉仕」の違いは、英語の「charity」と「service」として考えると分かりやすいと思います。英語でいう

「charity」は「神の愛」「神からの愛」であり、serviceは、その反対の意味で「神への愛」そして、「それを証明する献身的な行為」というようことになります。日本の場合は、神の存在は意識されませんから、神は他者、他の人になります。つまり、日本語で考えると「慈善」とは「上からの目線」で「不幸・災害に困っている人を援助する」行為です。一方、「奉仕」とは「下から、もしくは同等の目線」で「見返りを求めず、献身的に社会・国家・地域の為につくす」行為ということになります。そのような理由で、一般的には、「慈善団体」=お金や物資を集め、困っている人に寄付する団体。「奉仕団体」=活動・行動をもって、社会に貢献する団体、と理解されているのではないのでしょうか。つまり、最初の言葉「ロータリーは奉仕団体であり、慈善団体ではない」とい

葉は、お金や物を集めて寄付して貢献しているだけではダメですよ。体を使って、実践的活動をもって社会に貢献しなさいという、意味な訳です。

ロータリークラブが職業奉仕団体と定義される所以は、『ロータリーの綱領』にあると言われてしています。そこには、「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある」と記述されています。色々な方が、「有益な事業の基礎として」であって、「有益の事業を基礎として」ではない。「の」と「を」にとっても大きな違いがある、と言っているのを聞いてきました。つまり、事業が成功したあかつきには、奉仕を心がけましようということではなく、奉仕の理想が、事業の基盤になるのだよ、と説明されました。

でも、「有益な事業の基礎」となると書かれている「奉仕の理想」とは一体何を意味するのか、それが分かりません。後日、『ロータリーの綱領』でいう「奉仕の理想」とは、「他人への思いやりと助け合い」という簡単な言葉(国際ロータリー初代事務総長、チェスレー・ペリーによる定義)だったことを知りました。

『ロータリーの綱領』は、上のようなことから、以下のように理解することができます。「事業にとって大切な要素は、社会から要求・期待、経営方針、営業戦略など、色々ある。でも、一番大切なのは『他人への思いやりと助けあい』である。それが深い信頼関係を生み、その信頼関係が最終的な報酬としての利益につながる。『奉仕の理想』の実践こそが優れた報酬に値し、事業を繁栄に導く。」

この考えが根底にあるがゆえに、ロータリーは職業奉仕団体だと定義されます。

ロータリーの特長と言われる「職業奉仕」は、1923年の国際大会で議決された決議 23-34 第 1 条によって確立された、と言われます。その決議 23-34 第 1 条は、次のように理解できます。「人間は、『自分が良ければよい』という気持ちと『他人の為に何かしなくては』という、2つの相反する気持ちを持っている。そして、この2つの感情の狭間で常に葛藤している。この葛藤を和らげ、調和してくれるのがロータリーである。何故ならば、ロータリーは『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』、つまり、他人の為にすることが自分の為になると信じ、「超我の奉仕」の理念で活動するからである。」

この中に、1981年に第 1 標語と第 2 標語と定められた 2つの言葉が出て来ます。

第 1 標語「Service Above Self」(超我の奉仕)は、ロータリーの奉仕哲学です。

フランク・コリンズによって「Service Not Self」と 1911年に提唱され、それが 1920年頃から、現在のように「Service Above Self」と変りました。意味としては「Not Self」として、自己の関心事を否定することなく、それは認めた上で「Above Self」と自己の関心事よりも奉仕が優先するということでしょう。

第2標語「He Profits Most Who Serves Best」(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)は、実践理論の原則(「この考え方に則って、行動に移せ」と理解されます。本来は、第2標語が先に提唱され、職業奉仕の理念を説明したものでした。

後から提唱されるようになった第1標語は、同じ事を別の角度から説明した言葉と解釈されていました。しかしながら、ロータリーの長い歴史の中で、2つの標語は違う意味合いで理解されるようになっていきました。

本来、職業奉仕をもっとも良く表す言葉は、第2標語です。それは、お客様や従業員など、その事業に関わるすべての人々の立場を尊重することが、奉仕することであり、色々な関係が複雑に絡みあった事業を「正直」に実践する。他者から搾取せず、犠牲を求めない。すべての人が信頼と信用に支えられて生活できるようにする。それが最終的には最大の利益を生むことに通じると解釈されています。そして、そのことを通じて、地域社会を明るくすることができる。つまり、その事業が社会にとって有益性を持つこととなります。それが職業奉仕という考え方です。しかしながら、「Profits(利益)」という単語の解釈が、この第2標語の解釈に色々な意見を生んで来ました。儒教の影響もあり、清貧(清く、貧しく)を美德と考えがちな日本人は、「Profits=利益」という解釈に否定的になりやすく、精神的な報酬と解釈しがちです。しかし、この精神的側面を強調しすぎた考えは、アーサー・シェルドン自身が存命中に否定しています。ロータリーが職業人の集まりである限り、利益を否定することはあり得ないことです。そもそも、もし精神的な報酬を意味したのであったら、英語で利益を意味するProfitsという単語を、アーサー・シェルドン自身が使わなかったはずで

今、ロータリーの奉仕理念は、職業奉仕から社会奉仕に変わって行っているように見受けられることが多々あります。つまり、同じ「超我の奉仕」は「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という職業的な倫理観に基づく意味合いから、「他人のことを思いやり、他人のために尽くす」という人道的な奉仕活動を指すような意味合いへと変わって理解されているようです。ロータリーの職業奉仕は、それ自体が実は社会奉仕につながっています。あらゆる人々が信頼に支えられて生活できるようにすることが、職業奉仕です。そして、それが地域社会を明るくすることに通じる訳ですから、それは、当然、社会奉仕に通じます。また、事業で上げた利益を投じることで、国や社会へも貢献できるようになります。これも立派な社会奉仕です。そうすると、2つの社会奉仕に対する考え方が、ロータリーには必然的に生まれてくるはずで

ひとつ目は、職業はそのまま社会奉仕につながるという考え方。各ロータリアンの個人的な職業を通じて行われる職業奉仕が、地域社会を明るくすることにつながり、社会に貢献できるという、社会奉仕観です。個人的な社会奉仕を推進しようとする、理論派、または、親睦・互惠派と呼ばれるグループです。

また一方、事業で上げた利益を投じて、国や社会へ貢献しようという考え方も当然生まれて来ました。国や社会、地域が必要とする社会福祉の事業を、団体的な奉仕として手がけようとする社会奉仕観です。団体的な社会奉仕の必要性を訴える、実践派、または、奉仕・拡大派と呼ばれるグループです。

ロータリーでは、この2つの考え方が、各クラブの自治権の問題にも発展して、グループとして対立するように

なりました。その後、決議23-34が成立し、社会奉仕に対する考え方が統一されます。団体的な社会奉仕と個人的な社会奉仕の両方の重要性が認められています。ただし、ロータリークラブでの団体的な社会奉仕活動は、会員に対して協力を呼びかけて、実践すべき性格のものであり、この意味において、これは会員の個人的な奉仕活動と見なすべきであるとされています。ロータリーは、「職業奉仕団体」です。ロータリアンの個人の職業奉仕活動が、やがて社会奉仕活動へと発展していった訳です。ですから、団体奉仕よりも個人奉仕の方が、ロータリーの精神にそっている、と言えるとうたわれています。これらがロータリーの奉仕活動は、個人奉仕だ、と言われる所以です。

会長報告 山本 剛 会長 (10月6日)

1. 理事会報告
2. なかはら区民祭実行委員会より、賛助金のお礼と開催のご案内が届いております。
10月16日(日) 9:30~15:00 等々力緑地にて

幹事報告 小泉 正博 幹事 (10月6日)

1. 地区からの来信
 - ①地区大会記念 東日本大震災チャリティゴルフ大会の組合せ表が届きました。
参加される4名の方にメールにてお送り致しましたのでご確認ください。
 - ②クラブ奉仕委員長会議開催のご案内
日時:2011年11月15日(火) 15:00-17:00
場所:メモワールプラザソシア 21
※市川クラブ奉仕委員長、ご出席をお願い致します。
 2. ロータリー米山記念奨学会より、米山月間用資料が届いております。
豆辞典をポストに入れさせていただきましたので、ご確認ください。
 3. 他クラブ例会臨時変更
●川崎宮前RC 10月18日(火)
職場訪問移動例会 (榊柴橋商会 船橋工場)
 4. 他クラブ会報の回覧 川崎RC、川崎南RC、
- 次週10月13日(木)は、早朝例会です。**
ホテル精養軒にて、点鐘7時30分

ニコニコ報告 小林 正樹 親睦委員

みんなニコニコ

川崎北RC大塚様、本日はご多忙の所、お越しいただき会員一同心より感謝申し上げます。
洪君、夜間例会にようこそ。参会の皆様、今夜は大いに親睦を満喫してください。

山本 剛会長、小泉正博幹事、仁上喜久夫会員
会田公男会員、鈴木次男会員、高瀬建夫会員、
島田叔昌会員、佐藤文章会員、若狭滋則会員
市川功一会員、小林正樹会員、歌崎勅男会員
小林正樹会員、河合 東会員、原 秀元会員
戸張裕康会員

ニコニコボックス	本日	16,000円	累計	195,000円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	10,000円